

社会資本総合整備計画      事後評価書															
計画の名称	安全・安心で快適な公園づくり（防災・安全）														
計画の期間	令和02年度    ~    令和06年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	神戸市														
計画の目標	公園施設の長寿命化計画に基づき、園路広場や便所等のバリアフリー化や耐震改修等を図るとともに、老朽化した公園施設の改築・更新を進める。 それにより、誰もが安全で安心して利用できる快適な公園の実現を目指すとともに、公園施設に係るライフサイクルコストの縮減を図る。 上位計画における位置づけ：「神戸市緑の基本計画」第7章.施策の展開 2.まちのゾーン 方針2- 公園等の安全性の向上とバリアフリー化														
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		890	A	890	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R4末）	（R6末）
1	概ね2ha未満の身近な公園の園路広場のバリアフリー化率を54%（R2当初）から59%（R6末）にする。 （都市公園のバリアフリー化適合率（園路広場））＝（バリアフリー基準に適合している公園数）／（神戸市内の公園数）×100      バリアフリー適合除外公園を除く			
		54%	%	59%
2	概ね2ha以上の公園の便所のバリアフリー化率を46%（R2当初）から60%（R6末）にする。 （都市公園のバリアフリー化適合率（便所））＝（バリアフリー基準に適合している公園数）／（神戸市内の公園数）×100      バリアフリー適合除外公園を除く			
		46%	%	60%
3	公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化や劣化により更新が必要な遊具等について20公園で更新を進める。 （都市公園の改築更新の達成率（遊具等））＝（改築更新を実施した公園数）／（改築更新が必要となる公園数）×100 整備計画期間内において公園施設長寿命化計画に記載のある公園で、遊具等の改築更新が必要かつ重点配分対象外の20公園が対象			
		0%	60%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
・神戸市強靱化計画・安全都市づくり推進計画に基づき実施される要素事業：A1、A2、A3												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	都市公園安全・安心対策 緊急総合支援事業	公園における園路広場のバリ アフリー化等	神戸市						580		-
	A12-002	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	公園施設長寿命化対策支 援事業	公園施設の改築・更新	神戸市						50		策定済
	A12-003	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	公園施設長寿命化計画策 定調査	長寿命化計画改訂のための調 査業務	神戸市						110		-
	A12-004	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	公園施設長寿命化対策支 援事業（ユニバー記念競 技場）	ユニバー記念競技場舗装改修	神戸市						150	1.77	策定済
											小計						890		
											合計						890		

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
令和7年度 神戸市建設事業外部評価委員会	令和7年9月9日（第1回）、11月7日（第2回）
	公表の方法
	神戸市ホームページに記載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・都市公園の園路広場や便所について、継続してバリアフリー化を行った結果、バリアフリー化の対象公園の半数以上において誰もが安全安心に利用できる環境が整った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・バリアフリー化と合わせて、他の公園施設の改修も実施することで、公園全体のリニューアルを実施し、利用者に安全で魅力のある空間を提供することができた。
特記事項（今後の方針等）	
・今回の整備により、整備計画に定める園路広場のバリアフリー化率は60%と目標を達成した。 ・整備計画に定める便所のバリアフリー化率60%については未達成のため、継続的に公園施設バリアフリー化の推進に取り組んでいく。（R7年度中に達成予定）	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	園路広場のバリアフリー化率（概ね2ha未満の公園）		
	最 終 目標値	59%	目標を達成した
	最 終 実績値	60%	
2	便所のバリアフリー化率（概ね2ha以上の公園）		
	最 終 目標値	60%	便所の建設費高騰やバリアフリー基準の変更により、整備費が増大したため目標には達していないが、引き続き取り組みを進めR7年度中に達成予定（3公園）。
	最 終 実績値	56%	
3	老朽化等により更新が必要な遊具の更新をした公園数		
	最 終 目標値	100%	令和3年度より、「長寿命化計画に基づく公園施設の改築・更新（防災・安全）」に集約化したため。
	最 終 実績値	35%	